



春 Spring



夏 Summer



秋 Autumn



冬 Winter

比布町ふるさと通信
2012年号

びび

新名所「びびの路」から望む町内の田園風景と大雪山連峰



平成23年3月11日
東北地方で巨大地震（東日本大震災）が発生
比布町では震度2を観測
3月19～21日
東日本大震災の被災地域へ送る物資を町内で受け付け
3月27日
旭川比布同郷会が総会を開催
4月17日
「びっぴ、ふるさと元気商品券」を販売（第3回目）
4月23日
突哨山カタクリの里へ続く遊歩道「びびの路」を整備
4月24日
町議会議員選挙が執行され議長に久保田正義さんが就任
4月28日
比布町高齢者事業団創立20周年記念式典を挙げる
6月26日
いちご狩り農園が開園
7月9日
東京比布会が総会を開催

ふるさと会から

各会では会員を募集しています。各連絡先または比布町役場総務企画課へ気軽にご連絡ください。



旭川比布同郷会

旭川比布同郷会では、平成23年3月27日（日）に旭川市内で第58回目となる総会を開催し、会員約90人が参加しました。
比布町からは伊藤町長や牧野議長、荒尾商工会長らが出席し、交流を深めました。
参加者は、比布町からのスライド紹介や久しぶりに会う友人たちと近況を話しながら、和やかな時間を過ごしました。また、翌年の再会を約束し、盛会のうちに終了しました。

旭川

長員会費
岩城敏春さん
約500人
毎年1回
4,000円程度
宮崎重吉さん
☎0166-32-5218

■会費
■総会
■連絡先



札幌比布会

札幌比布会では、平成23年7月15日（金）に札幌市内で第17回総会を開催し、会員約70人と町内や旭川比布同郷会から14人が参加しました。
比布町からは伊藤町長や久保田議長、那須副議長、上西農協専務理事らが出席しました。
交歓会では、比布町を紹介する映像の鑑賞や母校である比布中学校の校歌などを歌い、再会した知人や友人たちと時間を忘れ、楽しいひとときを過ごしました。

札幌

長員会費
田中勝三郎さん
約400人
毎年1回
5,000円程度
大谷知彰さん
☎011-772-2804

■会費
■総会
■連絡先



東京比布会

東京比布会では、平成23年7月9日（土）に都内で第18回総会を開催し、会員約60人が参加しました。
比布町からは伊藤町長や久保田議長、大西農協専務理事らが出席しました。
役員改選では、瀬戸徳子会長が勇退され、牧野正さんが新会長に就任されました。
交歓会では、出身小学校ごとに校歌を歌い、久しぶりに会う友人と写真を撮るなど、楽しく交流しました。

東京

長員会費
牧野正さん
約350人
毎年1回
8,000円程度
深瀬和昭さん
☎0485-54-6765

■会費
■総会
■連絡先

4/23

新名所「びびの路」が完成

カタクリの里山
突哨山へ続く遊歩道が
このほど完成



「突哨山の自然と魅力をもっと身近なものに」という桐一郎さん（2区）からの一通の手紙をきっかけに、比布町内から突哨山に続く遊歩道が整備されました。
突哨山は本町と旭川市にまたがる標高239m、総面積225haの自然豊かな山林。整備には、保全活動を行っている突哨山運営協議会や本町の山林愛好者ら約20人が作業にあたりました。町内の村上山公園付近を起点に、旭川市側のルートにつながる600mの遊歩道。



有志たちの手によって切り開かれた新名所は「びびの路」と名付けられました。全国的にみても、カタクリの群生面積が広いことで知られる突哨山は、4月下旬ごろから、カタクリのほかに美しい花々や珍しい植物が見られます。
完成後、町内外から多くの方が散策に訪れ、比布町の自然を楽しまれています。
また、びびの路を散策した伊藤町長も「子どものころに遠足で歩いた懐かしい思い出や身近にある素晴らしい大自然に改めて感動しました。ぜひ、多くの皆様に利用していただきたい」と喜びを語っていました。

10/19

災害時に備え 応援協定を締結

滋賀県湖南市と
いつでも安心できる
関係を約束



友好交流を提携している滋賀県湖南市と本町が役場議場で災害時相互応援協定調印式を行いました。
式には、谷畑英吾湖南市長をはじめ、同市議会議員や下田学区の区長と本町から、伊藤喜代志町長や町議会議員らが出席。両市・町長が協定書を交換し、固い握手で互いのまちの支援を約束しました。
調印式で伊藤町長は「万が一の際に応援してもらえ、安心感を得た。小さな町だが、出来る限りの応援を



したい」とあいさつ。谷畑市長は「互いに駆けつけ合う自治体があることは心強い。この協定を基に、住民同士の交流と絆を深めていきたい」と述べられました。
調印式後には、引き続き、両市・町の出席者が今後の交流のあり方について意見交換会が行われました。
同日には、意見交換会での意見を基に、両市・町長を含む職員らが具体的な交流事業についての検討を行い、住民同士の絆を深めるための議論がされました。



7月15日
札幌比布会が総会を開催
7月16～17日
中央小の藤田晃選手、渡邊真衣選手が東日本小学生選抜ソフトテニス全国大会に出場（8月5～7日、同ペア全日本小学生ソフトテニス全国大会に出場）
7月18日
びっぴー丸ごと水田・泥んこだらけのバレーボール大会を開催
7月31日
比布中学校の皆川純子さんが全日本ペン書道展で三上秋果賞を受賞
8月7日
びっぴ七夕天国を開催
10月19日
滋賀県湖南市と「災害時相互応援協定」を締結
10月30日
町内で死亡交通事故が発生。交通事故死ゼロが2496日でストップ
12月10日
びっぴスキー場オープン
平成24年1月1日
町制施行50周年
1月8日
比布町成人式を挙げる
2月26日
びっぴチャレンジ☆パラダイスを開催

歴史を訪ねて

本年1月1日、町制施行50周年を迎えました。昨年は東日本大震災が発生し、東北地方を中心に大きな被害をもたらしました。比布町は比較的災害の少ない地域ですが、先人たちの開拓の初めから、猛威を振るう自然災害に悩まされてきました。本町発展の節目には、自然災害が発生しているようです。



台風15号で被害を受けた農家

開基60周年と台風15号

昭和29年8月、比布村の開基60周年を祝う行事が盛大に行われました。

明治28年、香川 愛媛 滋賀の3県団体が比布原野に移住して以来、厳しい風雪に耐え、本町の発展の基盤を築きました。その言葉を絶する苦勞と比布村のこれまでの歴史をしのぶとともに、将来の発展を祝福し、全村民あげて11日間にあたり、多彩な行事が繰り広げられました。

開基60周年を祝う諸行事の開催にあたり、村では役場庁舎内外の塗装工事を行い、開基60周年記念行事協賛会が設置されました。

この式典が行われた昭和29年は、台風15号が本道を襲い、青函連絡船「洞爺丸」を沈没させ、各地に甚大な被害を与えました。

比布村においても2028棟の家屋が全壊あるいは半壊。屋根が吹き飛ばされ、壁が落とされるなどの被害を受けました。

また、収穫期を控えた農作物にも大きな被害を与え、台風15号による被害総額は実に7600万円を超えるという空前の災害となりました。

(参考) 比布町史

発行・編集

ふるさと通信『ぴぷ』平成24年3月7日発行(通巻第12号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課広報係

☎078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



昨年の稲刈り風景(1区西間さん)

まちの人口

総数	4, 135人
男	1, 961人
女	2, 174人
世帯数	1, 861世帯

■平成24年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴぷ」は、比布を離られた人と比布を結ぶ情報紙です。
皆さまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。